

藍旗会報

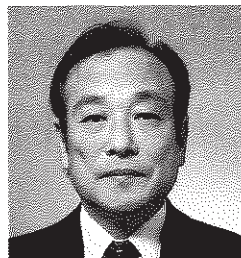
CONTENTS

1. 会長あいさつ
第7回藍旗賞授与
第8回藍旗賞授与式開催
2. 現役活動報告
3. 現役活動報告・OB会活動報告
4. OB会活動報告
5. 平成10年度決算報告
平成11年度藍旗会役員名簿
6. 平成11年度主な活動報告



会長あいさつ

藍旗会会長 海野正幸



政府筋からは景気の底入れ感を盛んにPRしておりますが(もちろん業種によって違いがあるでしょうが)、現実の社会では、どこを見ればそのような事が言えるのかと考えてしまう状態の中、会員諸君に於かれましては、益々奮闘・ご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、私が会長職をお受けしてから早2年が過ぎようとしておりますが、掲げた目標に対して、達成率としては30%程度でしょうか、会社でいえば即「首」の状態であります。とは云っても、その中で最も「良かったな」と思えるのは、現役の体育会本部役員と意志疎通が計られたことでした。

今までは藍旗会は藍旗会、体育会本部は体育会本部というように、それぞれが勝手に活動しているといった印象しかありませんでしたが、何度か会合を重ねる内に、徐々に藍旗会の存在意義・位置付けというものが見えてくるようになりました。体育会本部の呼称も通期で呼ぶように変更したのが良い例です。平成12年度の体育会本部役員(第33期体育会本部役員)の英断に拍手を送りたいと思います。「何とか同じテーブルに着けるようになったかな」といった感じになりましたが、まだまだ大学が標榜する『国際教養人』には程遠くはありますものの、それを指導していくのも我々の仕事でもあると認識しております。

何事もまず一歩。これからは一体感が生まれるように頑張っていきたいと思っております。今年は各部長先生との会合も開いてみたいと思っておりますので、何かとご協力をお願い致します。

現役の悩み等が藍旗会で補充出来るようになれば素晴らしいと思いませんか。

第7回藍旗賞授与〔平成10年度〕

〈受賞者〉	個人の部	原田良平	3年	第46回 全国学生剣道選手権大会	2回戦突破
	団体の部	剣道部		策23回 埼玉県剣道優勝大会	総合優勝(3年連続)
	"	"		第31回 全国学生剣道優勝大会	総合優勝(2年連続)
	"	ボウリング部		平成10年度 関東学生秋季リーグ	2部優勝 1部昇格
特 別 賞	島山美奈子	3年	98年 第13回アジア競技バンコク大会テコンドー	日本代表ベスト8	
			98年 全日本大会	優勝(6回連続)	
			97年 第13回世界選手権香港大会	日本代表ベスト8	
			97年 東アジア競技釜山大会日本代表	準優勝	
			96年 アジア選手権メルボルン大会日本代表		

受賞おめでとう!! 藍旗賞

第8回藍旗賞授与式開催〔平成11年度〕

平成12年2月5日、東京池袋のホテル第一イン池袋において、藍旗会主催による「第8回藍旗賞授与式及び祝賀会」が開催された。今回の藍旗賞は授与式は、海野正幸会長より一人ずつに賞状とトロフィーと記念品が贈呈された。

〈受賞者〉

個人の部	富田 浩	10期 OB	第2回全日本実業団高壮年剣道大会(6,7段の部)	優勝
団体の部	アーチェリー部		平成11年関東学生リーグ 男子2部完全優勝	1部昇格
"	"		平成11年関東学生リーグ 女子3部完全優勝	2部昇格
	硬式野球部		平成11年東京新大学リーグ春季優勝	1部昇格
特別賞	島山美奈子	4年	99年テコンドー全日本選手権大会	優勝 8回連続
	立石将紀	3年	99年第26回東日本学生相撲体重別選手権60kg未満級	ベスト8
	"		99年第24回全国学生相撲個人体重別選手権60kg未満級	優勝

藍旗賞授与式及び祝賀

主催 東京国際大学体育会OB会藍旗会



かすみ

新しい体育会本部執行部の役員が就任挨拶に見えた。委員長の言葉の中に「本部第三十三期執行部はこの一年頑張ります」とあった。従来の体育会本部は、国際商科大学から校名を東京国際大学と変更した時から一期と称していた。体育会を創設したOB達から通期で明示するように再三指摘されていたが、この度、十五年振りに「通期」で呼称するように戻した。執行部の英断を称えたい。◆その執行部へ藍旗会からの会合の案内状が出されると早い時期に出席者の名前を連ねた返信の連絡をしていく。相手の存在を認識している通常常識な行為である。ある会合で大学の教員に案内状を出したところ返信率が三四二%であった。返信率は、出席が欠席に○を付けて名前を書くだけでポストに投函すればよいようなになっている。切手を貼って貼ることなどはしなくてよいものだ。なのにこの低い返信率には驚かされた。いつも返信しない人は、学生の質を問う前に一般常識人としての自己の反省を試みるからだ。◆会合などでは、よく発言して率先して行動する人。割り当てられた事は責任もって実行する人。発言はするが、専ら無責任でなにも出来ない人のタイプに分けられる。最後のタイプは、権威主義の自己中心型に多い。権利を主張して義務を果たさず。事を大きくして騒ぎ立てる。協調性の無いタイプである。組織の中で発展を阻害することもある。周りの人はよく観察していることを理解した方がよい。◆藍旗賞の授与式も早いもので八回目を開催するところまで来た。体育・スポーツの発展振興のために、この「藍旗賞」の授与は継続してもらいたいと思う。(岳泉)

●現役活動報告 私たちは、今こんな活動をしています。

『ワンダーフォーゲル部』 ◎カレーといえばワンゲル？

私達M. D. ワンダーフォーゲル部では、年5回の合宿を中心とした活動を行っております。その中でも、夏合宿は活動のメインであり、今年は約十日間の日程で、北アルプスの雲ノ平とその周辺の山々へ行ってまいりました。例年にないほど天候に恵まれ、数々の素晴らしい景色を目にすることができ、また、全員皮がボロボロになるほど日焼けをしてしまいました。

秋霞祭も力を入れている活動の一つです。毎年キャンプ道具を使って、カレーを作っております。OB・OGの方々をはじめ、一般の来客の方々にも、“ワンゲルのカレー”を食べに、毎年来て頂く方がいるのは、とても嬉しい事です。売り上げ金は、打ち上げ代や、部費として、主に装備を買ったり、合宿費の補助金として使うことになりました。



『サッカー部』 ◎秋季一部リーグ優勝を目標

私達、東京国際大学サッカー部は、現在新チームとして、総理大臣杯、天皇杯に向け、日々練習に励んでいます。

現在、我々のチームには指導者がいないので、主将の尾崎を中心に、練習メニューなどを決めていたため、一人一人の責任感、協調性はかなり身に付いています。

また、昨年、一昨年と秋季リーグでは良い成績を残しているのですが、今年こそ、秋季一部リーグ優勝を目標にし、がんばりたいと思います。

これからも応援よろしくお願いします。



『硬式野球部』 ◎「チーム全員で勝つんだ。」

「今シーズンはどうなっちゃうんだ。」と思わせられる2部での春季リーグ戦の幕開けだった。絶対に落とせない初戦は痛い黒星のスタート。

この敗戦が影響されたのかとにかく苦しく長いシーズンだった。僕らは、「チーム全員で勝つんだ。」と一つになり、その結果が、優勝につながったと思う。このシーズンは本当に全員でつかんだ優勝だと実感した。

そしてむかえた入れ替戦。7対0の7回コールド負け。開き直った第2戦。比較的楽な試合ができ、5対1で勝利。

泣いても笑っても最後、第3戦。先制するも追いつかれ、引き離しても再度追いつかれる苦しい試合展開ヒヤヒヤながらも勝利をもぎとった。今シーズンを象徴するような苦しい入れ替戦だった。

死闘の末に勝ちとった一部での初戦。通算6勝5敗で勝ち点3。3位の成績を残した。

この結果に満足することなく、2部に落ちないように戦うのではなく、常に優勝を目指し、挑戦者として臨みたい。



『少林寺拳法部』 ◎自己確立を目的とした人づくり

我々、体育会少林寺拳法部は現在、男子10名、女子9名の計19名で活動しています。

昨年から女子部員が増えたので、「護身」をテーマにした練習を日々重ねています。練習内容としては、男女の違いなく、同じ練習メニューをこなしていて前半は突き、蹴り、受けなどの基本を行い後半では、基本を元にした技術をやっています。

少林寺拳法は、拳法を通しての自己確立を目的とした、人づくりの道なので、身体と精神の両方の面が鍛えられます。

大学での少林寺拳法部として、勉学と部活の両方をこなしていけるように今後ががんばっていききたいと思います。



『卓球部』 ◎アットホームな環境をモットーに

体育会卓球部は現在1年生5人、2年生7人(うち女子2人)、3年生5人(うち女子2人)、4年生1人の計18人で活動しています。

練習時間は火～金曜日で16時45分～19時迄で第2キャンパスのトレーニングジム2Fで活動をしています。また、うちの部では練習中は厳しくそれ以外では楽しくメリハリを持った自主性を各自で自覚しアットホームな環境をモットーにやってきました。

尚、今年の活動報告と致しましては主に春秋のリーグ戦、夏合宿、秋霞祭の模擬店出店を行いリーグ戦では男女共4部残留であります。が来年はその上を目指し精進していきたいと思っています。



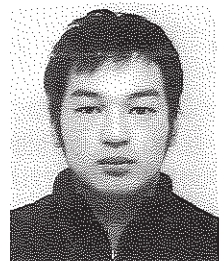
『体育会本部』 ◎諸先輩方の力と智恵を是非体育会の為にお貸し下さい。

第33期体育会本部 委員長 高野仁志

例年、藍旗会の諸先輩方には、東京国際大学体育会並びに、東京国際大学体育会本部を、御指導いただき、大変お世話になっております。

今年度より、2年ほど前からご指摘を受けておりました、体育会期を東国期から通年期に改め、自分達は33期を名乗ることになりました。やはり、自分が第33期の体育会委員長ということで、その歴史の重さと、先輩方から受け継いできた、伝統の重みをいっそう感じ取ることができ、感慨深いものがあります。

現在体育会の人数が、年間50人～100人単位で減っており、本部役員の頭痛のタネとなっております。自分自身を鍛える場として、素晴らしい体育会をもっともっと、学生に知ってもらいたい、その夢の為に、自分達は様々な工夫をしています。また、そのことだけではなく様々な方面で、諸先輩方の智恵をお借りして、体育会の発展に役立てていきたいと考えておりますので、諸先輩方の力と智恵を是非体育会の為にお貸し下さい。



● OB会活動報告 私たちは、OBの結束を計るためにこんな活動をしています。

『拳友会〔少林寺拳法部OB会〕』

少林寺OB 18期 熊坂雅彦

拳友会第10期生(大学16期生)信藤裕一君が平成11年5月、胃癌のため逝去しました。40歳でした。故人が生前に受けたご交誼を深謝しつつ、ここに藍旗会の皆様方へ謹んでご通知申し上げます。

拳友会が拳士仲間を失うのはこれが初めてです。それも40歳、まだまだこれからという若さでの死去でしたから、同期生はもとより先輩諸兄や後輩たちはただただ驚き、やがて悲嘆に暮れた次第です。

かくて“拳友”を失ってもうじき1年が経とうとしています。故・信藤君を偲び、一緒に汗を流し、苦楽を共にした学内の道場ほかで、追悼のためそれから懇親や近況報告のため会員集会を開催することになりました。本紙が刊行される頃でしょうか、3月26日に監督や部長をお招きし、思い出話を肴に酒を酌み交わすことになっています。

ところで拳友会では今、互いに助け合っていけるような組織を目指して動き始めています。拳法仲間はいつまで経ってもよき仲間達です。後輩の就職を世話したり、家族ぐるみで付き合ったり、現役学生にまじって稽古したり、拳士復帰を果たしたり、そんなこんなを重ねていけば、きっと拳友会の新しい有り様も見えてくることでしょう。

以上簡単ではありますが、拳友会の近況報告といたします。

『霞球会〔硬式野球部〕』

硬式野球部OB 加藤育生

硬式野球部のOB会活動は年一度11月3日文化の日に必ず大学に集合する事である。

会の名前は霞球会と1期生卒業の時に命名されている。会費は1口5,000円以上で値上げはされた事が無い。何処のクラブも同じと思うが人もお金も思うように集まらないが、何事も無く11月3日だけは30年間実施してきた事である。30年とは長いもので一番思い出すのは秋の入れ替え戦だろうか。何せ寒さが身にこたえ、負け試合は特に寒さを感じたものだ。最近では現役も戦力アップし1部に昇格しOBを喜ばせてくれている。これからの活動は、と言うと特別何も無いが少なくともOB会費を少しでも多く集め現役に役立ててもらいたいと思っている。ただひたすら全日本大学野球選手権大会出場を夢見て。

げんしん

『忼沁会〔躰道部OB会〕』

躰道部OB 3期 井上雅生

躰道部は今年創部35周年を迎え、平成11年度で会員も252名と多人数な団体となってきました。本年度も現役学生へのバックアップを継続的活動の中心に据え、又、現役とOBのパイプ役としてのつながりを大事に考え監督・コーチをOBで固めるようにしております。運営面では、定期的な会合を開いたりしてOB会として質の高い組織に向けて着実な成長を遂げていると考えます。

.....次のページに続きます。→

『ワンダーフォーゲル部OB会』

ワンダーフォーゲル部OB 8期 長野光司

当OB会も190名を超え組織が大きくなった反面、団体活動としてはわずかになってきております。

来年度の計画としては、OB現役合同山行、恩師加藤先生の70歳を祝う会(9月ごろ予定)、秋霞祭での集い、総会(昨年は実施せず)を予定しております。

昨年は、当会の「ワンゲル仲間」である木原氏(2期)、高橋氏(2期)、八木氏(3期)が逝去されてしまいました。通夜等で会う会員同士も何とも言えない気持ちでした。遠距離のため参列出来なかった会員は大変残念だったと思います。

今後は、のんびり、長く、あせらず、気楽に実施していきますので御協力よろしくお願いします。

『フェンシング部OB会』

フェンシング部OB会会長 11期 石井彦光

平成11年度も恒例のOB総会が秋霞祭の11年3月霞ヶ関の喜久寿司において行われた。当日は現役5名とOB10名、総勢15名が一堂に会し様々な話に花を咲かせた。

ここ数年は「現役学生のクラブ活動離れによる各クラブの部員不足」が話題の中心となり、OB会の活動もさることながらフェンシング部そのものの存在を危惧する声が聞かれようになった(その前にT I Uの存在が大前提となるのだが)。各OBからは自分が現役の時は勿論、社会へ出てから「学生時代におけるクラブ活動の意義」を一層強く感じており、そこを新入生に強烈にアピールすることで部員数を確保することが一番であると意見の一致を見た。

聞くとところによると、昨今は体育会系のクラブだけでなく文化系のクラブにおいても部員数の減少に悩んでいるそうであるが、どうだろうここで各クラブが集まり「部員数減少対策」のようなものを開催しては。ICC時代から「ファミリー」な雰囲気売り物であったはずの母校が年々その良さを失っていくのは耐え難い。皆さんはそう思いませんか？

『ボウリング部OB会』

今年の幕開けはたんに新しい年というのではなく、ミレニアムという今までとは違った幕開けを感じさせます。藍旗会が一丸となって新しい活動を始めるのに最も相応しい年ともいえるのではないのでしょうか。

私たちボウリング部OB会も色々な工夫をして、出来るだけ多くの機会を作って皆で参加出来るOB会を目指して活動を続けております。主な行事としては、役員会(活動内容や方向を打合わせる)、家族でのレクリエーション(OBだけでなく家族ぐるみで交流を持ってもらう)、夏合宿参加(現役と親しくなる)、ゴルフコンペ(OB同士の親睦を深める)、OB現役対抗戦(現役生への援助金の進呈と現役の練習の成果を見せてもらう)、OB会総会(活動方針や会計報告の承認及び役員の承認)等がございます。

しかし参加して下さるOBのメンバーがいつも参加して下さる方、ほとんど参加して頂けない方に分かれて来ているようで、どのようにしてより多くのOBの方々に行事に参加して頂けるようになるかが大きな課題かと思っております。

大学生そのものの数が減少し、さらに体育会離れが著しい昨今ではありますが少しでも現役生をサポートでき、且つOB同士の親睦を深めて行けるように今後も役員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、皆様方の一層のご指導ご鞭撻を頂けますようお願い申し上げます、活動報告とさせていただきます。

『スキー部OB会』

スキー部OB会 11期 福島英人

スキー部OB会は、平成10年度から秋霞祭時に幹事会を開催しています。これは歴代各期の代表1名を学年幹事として選出し、会長以下役員と共にこれからのOB会の方向を考えていこうとするものです。まだ2度の開催で各期の全員が集うまでにはなっていませんが、世代間交流を図り会員相互の情報交換にはたいへん役立っています。また3月上旬には、役員を中心に現役部員のスキー合宿に参加しています。ここでは現役との交流を図ると共に、部内競技会である斉藤杯を視察しています。春秋には、何故にスキー部がという意見もありましたが、ゴルフコンペを企画開催し楽しんでいます。

各種連絡報告、会費納入案内等の通信物として郵送している『OB会通信』は第5号となりました。会員からはインターネットを利用してはどうかという意見もありますので、順次検討しているところです。



『ヨット部OB会』

ヨット部OB会は会員相互の交流とインカレでの優勝をめざす現役学生への援助を目的として設立され、今年で22年目を迎えます。

昨年度も春のOB総会をはじめ、現役との合同で秋のOB戦(米山杯)、12月のクリスマスパーティーを行い活発に活動しております。

『霞道会〔剣道部OB会〕』

霞道会会長 6期 斉藤佳邦

剣道部のOB会である霞道会は、毎年全国にいるOBに近況を報告して頂き、霞道会報として発行し、日頃会えないOB諸氏の親睦を図っております。1999年は1月に剣道部の監督をされている富田氏の日本実業団高壮年6・7段の部の優勝ということで、4月に多数のOBに呼びかけ祝勝会を開催いたしました。8月には剣道部の部長をされている枇杷木先生がドイツのバーデン・バーデンで国連の平和文化の年の国際的学会で、剣道の精神を通しての平和文化について講演され、各国の大きな評価を得られました(概要は剣道時代1月号に掲載)。

今年2000年は創部35周年にあたり、記念式典を開催し、霞道会を益々発展・充実していきたいと考えております。



今回掲載出来なかった現役各部OB会を次回以降に特集する予定ですので楽しみに。

平成10年度決算報告

収入の部			支出の部			
科目	予算	収入金額	科目	予算	支出金額	備考
前期繰越金	181,105	181,105	藍旗賞会場費	200,000	216,772	池袋第一イン会場費用
会費収入	900,000	745,972	藍旗賞賞品代	220,000	224,050	藍旗賞副賞・楯
JCB会費預金	2,300,000	2,244,6323	JCB預り払戻金	2,300,000	2,176,510	JCB自動引落し払戻金
同窓会援助金	300,000	00,000	会報出版費	400,000	398,280	藍旗会報新聞作成費
会合会費収入	150,000	120,000	会議費	40,000	68,532	役員会会合費
広告収入	0	0	郵送代	180,000	195,015	郵送費(会報発送費含む)
雑収入	0	3,900	発送費	5,000	3,490	宅急便
銀行利息	600	581	雑費	30,000	39,050	事務用品その他
			慶弔費	30,000	20,642	冠婚葬祭費
			振込手数料	6,000	7,081	銀行振込手数料
			記念品	15,000	13,230	東村前会長贈呈品
			システムデータ作成費	0	52,500	
			小計	3,411,000	3,415,152	
			次期繰越金	420,705	181,038	H11.3.31残金
合計	3,831,705	3,596,190	合計	3,831,705	3,596,190	

平成11年度藍旗会役員名簿

役職	期	氏名	〒	自宅住所	自宅TEL	クラブ
会長	1	海野正幸				躰道
副会長	8	長野光司				ワングル
副会長	11	池田稔				ボウリング
副会長	14	天間基				ヨット
役員	1	加藤育生				野球
役員	1	井草義彦				ゴルフ
役員	5	吉野和典				硬式庭球
役員	11	石井彦光				フェンシング
役員	11	福島英人				スキー
役員	16	前原広明				陸上競技
役員	16	片山裕司				ボディビル
役員	22	山田孝之				アメフト
役員	24	青山道生				躰道
監査	10	大川和男				少林寺
監査	11	高田美介				剣道
相談役	1	辻内健				躰道
相談役	1	三宅ヨシロウ				野球
相談役	1	池内和彦				躰道
相談役	2	神頭正弘				ワングル
相談役	3	東村真				アメフト

藍旗会・平成11年度の主な活動内容

(平成11年4月1日～平成12年3月31日) (*は、予定)

平成11年	5月10日(月)	平成11年度自動引き落とし申し込み締め切り	
	6月10日(木)	JCBより口座引き落とし処理	
	6月13日(日)	同窓会総会・講演会・懇親会への参加(学内)	
	6月30日(木)	JCBより各OB会費の藍旗会口座への振り込み入金	
	8月6日(金)	「第1回役員会」開催(国際交流研究所)	
	10月25日(月)	正副会長・体育会本部打ち合わせ	
	12月2日(金)	「第2回役員会」開催(国際交流研究所)	
平成12年	1月11日(火)	「第1回常任委員会」開催(葛西)	
	1月22日(土)	同窓会新春の集いへの参加(池袋サンシャイン60)	
	2月5日(金)	「第2回常任委員会」開催(池袋第一イン)	
		「平成11年度・藍旗賞授与式」開催(池袋第一イン)	
	3月末	「藍旗会報10号」発行	
	その他	正副会長・事務局打ち合わせの開催	*
		藍旗会報編集打ち合わせの開催	*
		各クラブOB会記念行事への参列	*
		不活性OB会への育成援助	*
		藍旗会会員の親睦会の開催	*

会費納入のお願い

藍旗会会則第25条に「正会員及び準会員は年会費500円を納める。その会費は、各OB会が一括してとりまとめ納入する」とあります。未納の会員の方、クラブの方、ぜひご協力を宜しくお願い申し上げます。なお、藍旗会費(および広告代金)の振込は下記口座へ。

富士銀行 川越支店 普通 1511664 (名義) 藍旗会会長 海野正幸

計 報

◎石垣卓也さん
ワンダーフォーゲル部1期 商学部
平成10年3月7日

◎木原和彦さん 享年51歳
ワンダーフォーゲル部2期 商学部
平成10年12月5日

◎高橋友二さん
ワンダーフォーゲル部2期 商学部
平成11年10月28日

◎八木秀樹さん 享年50歳
ワンダーフォーゲル部3期 商学部
平成11年7月27日
同窓会幹事・藍旗会常任委員

◎平山正明さん 享年53歳
ラグビー部1期 商学部
平成11年7月19日

◎信藤裕一さん 享年40歳
少林寺拳法部16期
平成11年5月

◎高橋 亨さん 享年46歳
硬式野球部8期
平成12年3月
体育会本部第8期副委員長

※以上謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



「現役体育会総会に参加して」 少林寺拳法部 10期 大川和男

現役学生による体育会総会が、昨年11月27日、私たちの母校である東京国際大学の第2キャンパスで開催されました。私は、海野会長の代理として、来賓という立場で参加させていただきましたので、そのご報告とともに私の感想を述べさせていただきます。

まず、式次第については、1. 開会挨拶、2. 「藍旗の歌」斉唱、3. 前年度体育会委員長挨拶、4. 本年度体育会委員長挨拶、5. 本年度常任役員紹介、6. 来賓挨拶、7. 各クラブ主将紹介、8. 校歌斉唱、9. 閉会挨拶でした。

この式次第で考えますと、せいぜい1時間から1時間半程度の所要時間ではないかと思われそうですが、実際は約2時間半ほどの長丁場となりました。その理由として、前年度役員及び本年度役員全員が1人ずつ挨拶を行い、それぞれ会場から花束が贈られたり、感激のあまり涙するというシーンが見られ、来賓挨拶になるまでに1時間以上を要するという議事進行上の問題が考えられます。

また、役員挨拶につきましても、話の内容がプライベートな部分にまで及んだり、公私の区別がはっきりしていないようでした。

その一方で、事業報告、会計報告、事業計画及び会計予算等の審議はなく、体育会総会というよりは、役員の引継ぎといった意味合いが強いように感じました。

出席者の人数については、試合のため出席出来なかったアメリカンフットボール部や剣道部などを除いて、約200名が出席しており、最近のキャンパスではあまり見かけなくなった学生服姿やブレザー姿の学生が集合し、ピーンと張りつめた中での開会となりました。また、私の印象としては、女子学生の割合がずいぶん多いと感じました。3割から4割位が女子学生ではなかったでしょうか。これも世相の反映だろうかと思わずにはおれませんでした。

非常に簡単ではありますが、以上が私の感想であり、最後にまとめますと、①体育会総会の本来の意味合いを考えて議題を上程すべきではないか、②議事次第に従ってスムーズな進行を心掛けてほしい、③公私の区別をはっきりさせ、私の部分については、懇親会に移ってからでも良いのではないか、ということでもあります。

現代の学生気風もありますので、あまり押しつけるわけにはいきませんが、少なくとも東京国際大学の学生として、社会人になる前の準備段階として、知性を感じさせる体育会であってほしいと思います。

最後に、体育会OBの一人として、現役体育会学生諸君の今後のご活躍とご健闘を、心から期待いたします。 以上

お 告 募 集 の

次号より広告を募集致します。
詳細の問い合わせ、お申し込みは、
藍旗会事務局まで。

編集後記

皆様の御協力のおかげでやっと発行することができました。当会も同窓会から日頃の活動が認められ支援される団体になり、責任を感じているところです。また、役員会には、現役体育会執行部も参加し、意見交換をし交流を深めていますので、将来のことを考えますと良い方向に進んでいると思います。「継続は力なり」を合言葉に役員一同努力して参りたいと思います。

(副会長 長野)

藍旗会報No.10 2000.3.27発行

■編集・発行

藍旗会(東京国際大学体育会OB会)

〒350-1197 埼玉県川越市市場北1-13-1
TEL(0492)32-2080 FAX(0492)33-3314

■制作・印刷

有限会社 宮一印刷